

キレイな仕上がり

しほうあ  
四方合いじゃくり

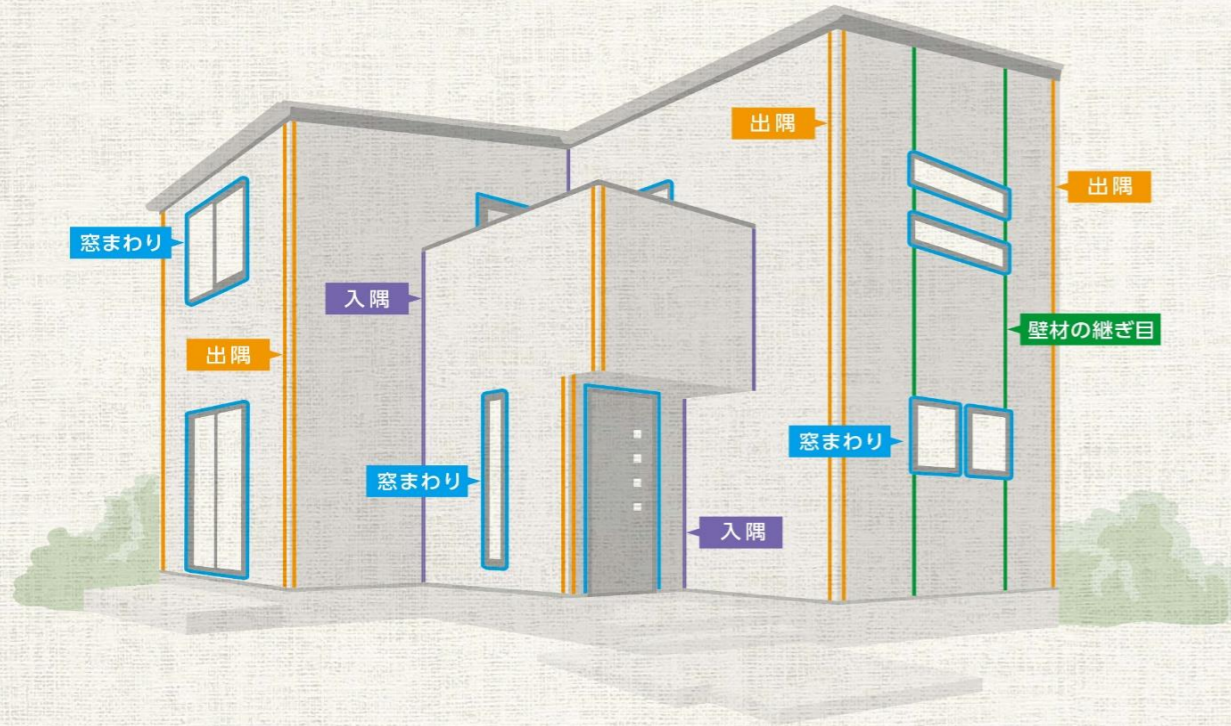
1 シーリング目地に比べて継ぎ目が目立ちにくい!

左右接合部はシーリング目地が入らないため、柄に合わせた自然な継ぎ目で一体感のある壁面を演出できます。シーリングの黒ずみ汚れや切れの心配もありません。



シーリングとは ?

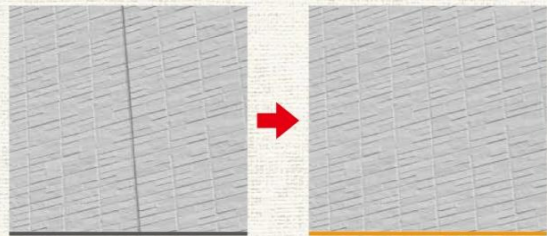
窯業系サイディングなどの住宅部材は、交通事情や台風・地震・風雨などの影響によって微妙に動いています。この壁面の動きを吸収し、美観を維持するために、壁材どうしの継ぎ目に緩衝材や雨水浸入を防ぐ役割として使用されるのがシーリングです。しかし、シーリング目地そのものは直射日光を浴びるなど厳しい環境のもとにあり、特に傷みやすくメンテナンスが欠かせない部位とも言えます。フュージェは壁材の上下左右の継ぎ目はもちろん、出入隅部や開口部に専用の部材を使用することでシーリング目地を大幅に減らし、より自然な壁面に仕上げることができます。



しほうあ  
四方合いじゃくり (Fu-ge / COOL) なら…  
シーリング目地に比べて板の継ぎ目が目立ちにくい。

壁材の継ぎ目

通常のサイディングの場合、左右接合部はシーリング納めとなります。



※画像はイメージです。

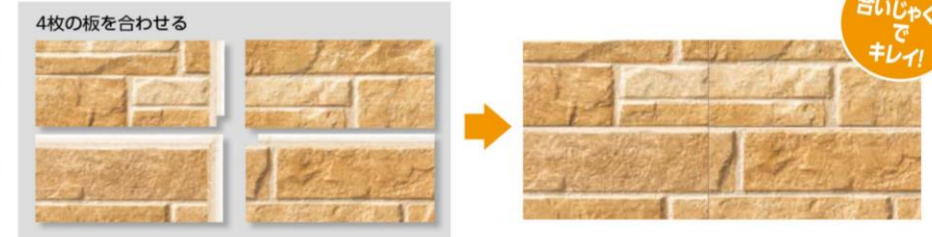
\*出隅部・入隅部・開口部周りはシーリングを使用します。又、換気口まわり等、納まり上シーリング目地が必用になる部位がございます。



出隅部シーリング目地イメージ

2 Fu-ge は上下左右の四方に実がある四方合いじゃくり品です。

上下2方向の<sup>さね</sup>実だけだと左右接合部はシーリング接合となります。四方<sup>しほう</sup>合いじゃくり品は4方向に<sup>さね</sup>実があるため、シーリング目地が大幅に減り、外壁がより自然に仕上がります。



しほうあ  
合いじゃくりとは ?

合わせる板を、2枚とも厚みの半分だけ削り取り、相互に張り合わせる方法を<sup>しほうあ</sup>合いじゃくり接合といいます。またその半分削り取った部分を<sup>さね</sup>実と呼びます。

※ 四方<sup>しほうあ</sup>合いじゃくり品についての外観上の注意はP.138、P.234をご確認ください。

■ 四方<sup>しほうあ</sup>合いじゃくり品のウマ張り施工について  
[Fu-ge PREMIUM] [Fu-ge]は四方<sup>しほうあ</sup>合いじゃくり品ですが、ウマ張り施工には対応しておりません。